

いつでもどこでも
日刊産業新聞DIGITAL
 PC・スマホ・タブレットで産業新聞まるごと読める



まずは2週間の無料試読から
<https://www.japanmetal.com/pre-order>

発行所 産業新聞社
 東京本社 東京都中央区新川1-16-14
 TEL 03(5566)8770(代) FAX 03(5566)8185
 大阪本社 大阪市西区阿波座1-3-15
 TEL 06(7733)7001(代) FAX 06(7733)7070
 アジア総局 上海市婁山関路85号 東方国際大廈C座1604室
 上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

日刊 産 業

Japan M

東 鋼

- 東
- ▽H形鋼
 - 【細幅】 150×75~148×100
 - 【中幅】 800×300 900×300
 - 【広幅】 100×100 414×405
 - ▽高H形鋼 196×197×6/8
 - ▽I形鋼 100×75・125×75 150×125・180×125 200×150・300×150 150×75~250×100
 - ▽溝形鋼 100×50~300×50 380×100×10.5
 - ▽角形鋼管 (トウ) 150×150~175×175 200×200~400×400

- ▽厚板 8.0 9.0≦t≦40.0 45 50・55 60 65・70・75
 - ▽U形鋼矢板 TSP-II・III
 - ▽異形棒鋼 D10 D13~25 D29・D32
 - ▽ホットコイル 1.7≦t≦22.0
 - ▽酸洗コイル 1.7≦t≦6.0×9
 - ▽溶融亜鉛めっき SGCC Z08 0.9≦t≦1.6×8 SGHC Z08 1.6<t≦2.3×8
 - ▽縞コイル 2.3≦t≦19.0
 - ▽熱延鋼板 1.6 2.3≦t≦6.0×9 9.0≦t≦22.0
 - ▽酸洗鋼板 1.6 2.3≦t≦6.0
- *申込締切日：5月1

新工場・庄延機など14億円

特殊金属エクスセル、増産投資

特殊鋼やステンレスの冷間庄延加工などを手掛ける、特殊金属エクスセル(本社=東京都豊島区、水谷徳次郎社長兼COO)は、新工場の建設や庄延機の新設導入をはじめとする生産体制強化などに合計14億円を投資することを決めた。生産性や歩留まりの向上を図り、得意とする高機能精密材料の供給体制を強化する。新庄延機は、QCD(品質・価格・納期)を高めるため、7億円を投じる埼玉事業所(埼玉県ときがわ町)に導入し、2024年の稼働開始を目指す。

2割増益へ24年稼働

生産体制強化や業務効率化、環境対応などを目的に、戦略的な設備投資計画を策定した。22-23年は安定生産・供給などで8000万円、職場環境向上で5000万円、太陽光発電システム拡張工事で5000万円、太陽光発電システム拡張工事を5000万円、基礎幹システムの更新とサイバーセキュリティ対策強化に3億円を投じる。24年をめぐり新工場を建設する計画で、2億円を投資し、増産とBCPに対応できる生産体制を整える。

埼玉事業所に導入する新庄延機は、電子部品や自動車の電動化など産業の変化を見据え、「高まる品質要求水準の実現と差別化」品質と供給の安定化「稼働力の強化」を目的に導入するもの。金属組織の制御や外観品質、平坦度と品質再現性、生産性を向上させ

ることで、営業利益ベ

1スで2割増を目指す。設立100周年を迎える2040年も第一線で活躍することを期待する設備(谷口毅代表取締役兼CEO)とし、自社設計をベースに外部技術を複数取り込む。

この新庄延機は自社設計の18段庄延機。通板最大幅は340mm、最大投入素材板厚は2・5mm、製品板厚は0・03mmまで対応可能で、高い精度を求められる精密品の庄延で使用する。需要増やBCPなどの観点から埼玉事業所の既設庄延機と

同タイプを予定。07年以降、国内外で新設する18段庄延機はこれで5台目となる。特殊金属エクスセルの21年12月期決算は、海外事業会社4社を含めた連結売上高が112億円と前期比34%増、経常利益は同2・3倍。特殊金属エクスセル単体の決算は売上高が同62億円と同23%増、経常利益は同2・8倍。同社をはじめケル

建材管グループ **ZAM** 在庫

1) ZAMは、日本製鋼所株式会社の登録商標です。
 2) ZAMは、日本製鋼所株式会社が開発した高強度Zn-Fe系合金鋼板(Mn-Mg-Ni系合金鋼板)の製品名です。

麻布成形株式会社
 ISO9001/14001 認証取得
 TEL 047-353-9100
<http://www.az-azabu.com>

ープ会社の上海隆興、香港特金の3社が過去最高の業績となった。前期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んでいた需要が回復に転じ、モバイ

ル端末用電子部品や産業装置部材、編み機向けなどの新規受注獲得が進んだ。谷口CEOは「これまで取り組んでいた提案などの種々の成果が実り、刈り取ることができた」と述べた。

神戸製鋼 薄板3品目 店売り・リロール

神戸製鋼所は16日、鉄鋼アルミ事業部門で扱う国内建材・店売りとりロール・パイプ向けの鋼板薄板3品(熱延、冷延、表面処理鋼板)の販売価格を、6月出荷相当分からトン当たり1万円追加値上げすると発表した。原料価格の上昇、副資材、資機材、物流費など生産コストが高騰しているため、5月出

荷に続く値上げ。2月以降、段値上げ幅はの累計で8なるが、代替、原料不安定で、況次第ではなく、今後可能性が薄板を取は、中国のダウンや移

設機械などはおおむね築向け需要にある。薄の生産回復れ込みそうは高水準にバランスはが続くだろう在庫過多